

ちよたん★先生名鑑

介護福祉コース

西本 房乃 先生

教員歴だけでなく、老人ホームなどでの現場経験も豊富。介護福祉士制度が制定される以前から、第一線で活躍してきた。周囲も認めるハイセンスなおしゃれ感覚は、介護の世界に対する深い洞察と愛情から生まれた。



着物が好き。

趣味は着付けで、自前の着物は30着ほど。人に着せるのも自分が着るのも大好きです。着物を身に付けると姿勢がよくなり、凛としますね。なんとなく女性に戻れるような気がします。(笑)忘れてしまった日本文化を再認識させてくれるひとときです。

カラオケ、嫌いじゃないです。

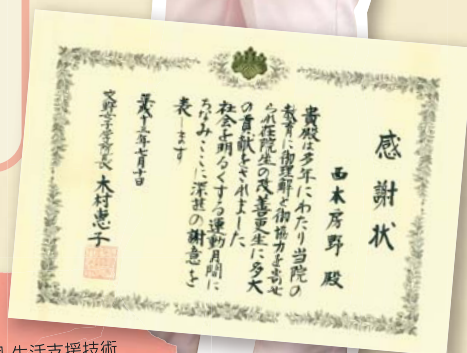
仕事柄、お年寄りと一緒に歌うことが多いです。かなりご高齢の方なら“お富さん”とか“皆の衆”とか。“真赤な太陽”も盛り上がります。ソロで歌えと言われたら、川中美幸さんの“ふたり酒”や、小林幸子さんの“もしかしてPARTII”をチョイスします。



介護の仕事は、時代がどんなに移り変わっても、人を相手にする素晴らしい仕事です。



介護の達人は、おしゃれの達人。



【主な担当科目】

介護過程・介護の基本・介護実習・生活支援技術

【主な活動】

奈良県介護福祉士会会長。介護施設職員指導。介護認定審査委員。初任者研修、実務者研修、実務者研修教員講習等講師。矯正施設指導。奈良犯罪被害者支援委員。奈良県介護人材運営委員。



介護の世界を華やかに。

介護の世界はずいぶん変わりました。ベッドや車椅子などの機器は扱いやすく進化し、介護職も広く認知されるようになりました。また、世間の介護に対する興味や理解が深まり、働きやすい環境になったと思います。それを働く人がどう感じるか。私は昔も今も、いきいきと華やかに働ける職場だと思っていますし、これからの介護の世界は、もっと魅力的に輝きながら、自分磨きの出来る世界であると思います。

あなたに会えて良かった。

そう利用者さんから言われたとき、介護の仕事をしていて本当に良かったと実感します。人の人生に影響を与えるため責任も伴いますが、素晴らしい仕事だと思います。時代はうつり変わっても、人を相手にすることに変わりはありません。厳しく指導することもあります。介護福祉士として責任とプライドを持って活躍できる人材を育てたいと思っています。

